令和7年(2025年)度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 23 日

評価対象事業			評価者	下水道河川課 杉浦康史		
都整-24		'	■ 自治事務	主管課	下水道河川課	
	的小加設和	E付官任争未	□ 法定受託事務	関連課		
総合計画上の位置付け	分野	5-(6) 下水道·河川	施策の方針	5-(6)-②河/	の整備・管理	

1_	事業の目的
対	市民等
象	
意	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
図	
効	雨水調整池について、良好な状態を保持する。
里	

2 令和6年(2024年)度に実施した事業の概要

雨水調整池の良好な状態を保持するため、雨水調整池浚渫業務委託等13件を実施した。

令和4年度には河川の溢水を監視するための河川等監視カメラを3箇所設置したことから、令和5年度は総計5台のデ-ター閲覧が可能となった。令和6年度は、継続して河川等監視カメラ5台のデーターを閲覧できるようにした。また、令和7 年度の更新に向け現状よりも使いやすさや利便性を重視した仕様書の作成を行った。(今後は普通河川等にカメラの増 設を検討する。)

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

技 番 事務事業 実施 号 (主		宇体口	施した主な事業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		令和6年度			令和7年度	
番	事務事業		にエグザ来 (経費等)	指標(単位)	指標(実績			指標(目標値)	達成度
				\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	事業費(決算			予算額(千円)	
01	雨水施設維持管理事 業	維持修繕	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	浚渫等実施件数	11	/	12	10	91.7%
	*				34402	/	39403	170,066	31.770
02	河川監視カメラ設置事	河川監視	カメラ設置	カメラ設置箇所数	0	/	0	0	100%
	業				0	/	0	0	100%
03	河川監視カメラ設置事		テム改善点	検証した改善点の個	2	/	2	3	1.00%
	業	の検証		数	5160	/	5160	5,397	100%
04						/			
						/			
05						/			
						/			
06						/			
						/			
07						/			
						/			
08						/			
						/			
09						/			
						/			
10						/			
						/			
				国県支出金		/			
			財源	地方債		/		119,700	
			内訳	その他特定財源	184	/	13		
				一般財源	39378		44550	,	
				の合計 (千円)	39,562	/	44,563		
			人作	件費 (千円)			17,370	18,455	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	W177777 \ 1-3	1 /	-3 /11/			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1	2	2	2	2	2
会計年度任用職員	0	1	2	1	1	1

5 評価結果

(1) 最小事業評価

# かいなく不調になった業務が あったため、日標を達成することに寄与する。	枝番号	事	務事業	指標分析の推移 目標未達の理		上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
# そのため、令和5年度以降は指標未設定。			设維持管理事	がいなく不調になった業 あったため、目標を達成	養務が 浸	水対策の推進することに寄与	を把握し、定期的に浚渫を行ってい
3			見カメラ設置事	そのため、令和5年度以	以降は指 市と 全	民等の避難情報に活用するこ が可能となるので、市民の安 ・安心を確保することに寄与す	設置箇所を増やして行く検討が必要
30 10 10 10 10 10 10 10			見カメラ設置事		を検証し 河 できた。 市 と 全	川の水位を監視することで、 民等の避難情報に活用するこ が可能となるので、市民の安 ・安心を確保することに寄与す	ムを渇水期に入替する。
1	04	0					
10 0 0 0 0 0 0 0 0 0	05	0					
0 0 0 0 1 1 事業費の削減余地はないか 1 事業費の削減余地はない 事業費の削減余地はない 事業費の削減余地はない 事業費の削減余地はない 事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか 3 外部化ができる事業はない 3 統合できる事業はない 3 統合できる事業はない 1 市民三一ズは変わらずにある 1 市民三一ズは変わらずにある 1 市民三一ズは変わらずにある 1 市民三一ズは変わらずにある 1 市民三一ズは変わらずにある 1 日民三人文代替できる事業はない 1 日的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か 公負担未導入 公一2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきもの 公一2 市民等と協働して事業を展開しているか 公・協働未実施 協働実施済の場合のパートナー 1 1 1 1 1 1 1 1 1	06	0					
30 0 0 0 1 1 事業費の削減余地はないか 1 事業費の削減余地はない 1 事業費の削減余地はない 3 外部化ができる事業はない 3 外部化ができる事業はない 3 株正の大きの事業はない 3 株正の大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの	07	0					
(2) 視点別評価 事業費の削減余地はないか	08	0					
(2) 視点別評価 事業費の削減余地はないか	09	0					
事業費の削減余地はないか 1 事業費の削減余地はない 事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか 3 外部化ができる事業はない 夏連・類似する事業の統合はできないか 3 統合できる事業はない 妥当性 各事業の実施に対する市民ニーズはあるか 民間によるサービスで代替できる事業はないか 1 市民ニーズは変わらずにある 有効性 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである。 協働 市民等と協働して事業を展開しているか 市民等と協働して事業を展開しているか。 △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 【今後の方針】 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 体止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。	10	0					
事業費の削減余地はないか 1 事業費の削減余地はない 事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか 3 外部化ができる事業はない 夏連・類似する事業の統合はできないか 3 統合できる事業はない 名事業の実施に対する市民ニーズはあるか 民間によるサービスで代替できる事業はないか 1 市民ニーズは変わらずにある 有効性 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである。 協働 市民等と協働して事業を展開しているか 市民等と協働して事業を展開しているか。 △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 【今後の方針】 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 体止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。	(2)	視点別	評価				
関連・類似する事業の統合はできないか 3 統合できる事業はない 妥当性 各事業の実施に対する市民ニーズはあるか 民間によるサービスで代替できる事業はないか 1 市民ニーズは変わらずにある 有効性 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである。 協働 市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 「今後の方針」 □ 破・変更 □ 現状維持 □ 体止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。 □ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	,	100011111		余地はないか		1 事業費の削減余地はない	`
妥当性 各事業の実施に対する市民ニーズはあるか 民間によるサービスで代替できる事業はないか 1 市民ニーズは変わらずにある 有効性 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである。 協働 市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施協働して実施する事業はない (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 【今後の方針】 取充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止・廃調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。	效	 	事業の外部化	(民営化・業務委託等)	はできないか	3 外部化ができる事業はな	V \
妥当性 民間によるサービスで代替できる事業はないか 3 民間によるサービスで代替できる事業はない 有効性 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである。 協働 市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 【今後の方針】 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 縮小 「休止・廃調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。			関連・類似する	る事業の統合はできない	か	3 統合できる事業はない	
R間によるサービスで代替できる事業はないか 3 民間によるサービスで代替できる事業はない 有効性 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である 公平性 受益者負担は公正・公平か △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである。 協働 市民等と協働して事業を展開しているか。 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 【今後の方針】 □ 放充 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。			各事業の実施	に対する市民ニーズは	あるか	1 市民ニーズは変わらずに	 ある
公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきもの 協働 市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する □ 協動実施済の場合のパートナー 「今後の方針」 □ 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。 □	多	当性	民間によるサ	一ビスで代替できる事業	はないか	3 民間によるサービスで代表	幸できる事業はない
公平性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきもの 協働 市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する □ 協動実施済の場合のパートナー 「今後の方針」 □ 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。 □		 i効性	事業の上位施	策に向けた貢献度はど	うか	1 目的達成のために適切な	:手段(最小事業)である
協働 市民等と協働して事業を展開しているか					I		
協働 市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する 【今後の方針】 ■ 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。			<u>~ ш ц ж і=10</u>				
【今後の方針】 ■ 拡充 □ 改善・変更 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止・廃 調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。	f	協働	市民等と協働し	して事業を展開しているか	△.協働未実	施 施	
調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。					て、今年度	以降の取組方針等を記載す	- -3
			_			□ 現状維持	□ 縮小 □ 休止・廃止
						善を検討する。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

- イントンへがいードト	<u> 子木大心に体の工なは体</u>								
指標(単位)	浚渫等実施件数	夋渫等実施件数							
指標設	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、 枝払いを定期的に実施する必要があるこ		2	3	10	10	12	10	
とから、浚渫等の実施件数を指標とした。		実績値	2	3	7	13	11		
		達成率	66.7%	100.0%	70.0%	130.0%	91.7%		

指標(単位) カメラ設置箇所数	よう いた は で いた で いた に いた に りた に りた に りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
河川の水位を監視することで、溢水の合吟性を東莞に切場することが可	目標値	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0
の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れるこ	実績値	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0	
とから、カメラの設置箇所数を指標と	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

指標(単位) 改善点の案数	善点の案数 単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可	目標値					2.0	3.0
能になったが、今後の契約更新時、	実績値					2.0	
使用の向上化を求めるため、現状監視システムの改善点の案数を指標と L +-	達成率					100.0%	

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

	-		<u> </u>	, 24 121		
比較事項		_				
団体名	鎌倉市					
他市実績						
他中天棋						

|--|